

令和6年度 評価規準

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元の ^ま 思 ^ひ	
			知識・技能	
ふしぎ	2	よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。 【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。	【B】小学校確認している 【A】小学校確認し、自己る。
桜蝶	4	●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」 んで理解し 自分の考 ^え いる
お気に入りの一品を紹介する	3	●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	日常生活 ^の の一品に ^て 集めた材料 内容を検 ^査
言葉の単位	1	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている	
自分の脳を知っていますか	4	●文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ●文章の構成を捉え、要約に生かす。 ●「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している	「読むこと」 心的な部分 事実と意見 て叙述をも 握している
筆使い ―基本点画―	1	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。	【B】基本点 の組み立 ^て を理解して 【A】基本点 の組み立 ^て を的確に捉
日本語の音声	2	日本語の音の特徴を理解する。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。	

ベンチ	3	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	比較や分類情報の整理方や出典の解を深める。
内容を整理して説明する	4	●写真を見るとき viewpoints を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」 図に応じて題材を決め理し、伝えている。
資料から得た情報をもとに意見文を書く	4	●資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	書く内容のうに複数のものに、段落で文章の精いる。
筆使いと字形「天地」	2	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。	基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。	楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を
漢字の広場	3	画数と活字の字体についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	積極的に漢字を書く習を生かし使おうとして
画数と活字の字体				
材料を整理して案内文を書く	2	●集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ●目的や意図を意識して、案内文を書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」 図に応じて題材を決め理し、伝えている。
持続可能な未来を創るために	3	持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	目的や場面の中からの材料を整理して
手紙を書く	4	手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。	手紙の書式と、文字の大きさや配列を把握し、調和よく書くことを理解している。手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して、字形を整えて書いている。	用紙の形や文字の大きさを

全ては編集されている	2	<ul style="list-style-type: none"> ●写真を見るとき viewpoints を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	目的や意図、生活の中からの材料を整理を明確にする。
森には魔法つかいがいる	4	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ●問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	文章の構成（特に論題、根拠を挙げる）。
文法の小窓	3	<ul style="list-style-type: none"> ●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 	文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。	
漢字の広場3	1	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の音と訓についての理解を深める。 	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の	
根拠を明確にして意見文を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●意見と根拠の関係を理解する。 ●根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	比較や分類、情報の整理の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。
学習を生かして書く—行書の特徴—	2	残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。	残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かをよく理解している。	残されてきた文字から、行書の特徴を的確に理解している。
広告の情報を考える	2	<ul style="list-style-type: none"> ●広告を見るとき viewpoints を知り、広告の特徴について理解する。 ●目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」 図に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にしている。
昔話と古典	1	古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いに分かる。	音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」 開や登場人物の感情の変化などに注意している。
物語の始まり	5	<ul style="list-style-type: none"> ●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ●『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」 開や登場人物の感情の変化などに注意している。

故事成語	3	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」開や登場人物の変化がもとに捉える。
点画の連続と変化 2「栄光」	2	点画の連続を理解して書くことができる。	点画の連続の仕方を的確に捉えている。点画の連続の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	点画の連続の課題を見法を考えている。
蜘蛛の糸	4	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	すすんで読ことに役立つことまでの学習で考えている。
河童と蛙	2	場面と描写を結びつけて読む。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	すすんで表るとともに、とを伝えよ
オツベルと象	8	<ul style="list-style-type: none"> ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。 	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。	事象や行為の量を増し、使うことをと語彙を豊かにし、比喩、反復などの表現のしている。
点画の省略「平和」	2	点画の省略を理解して書くことができる。	点画の省略の仕方を的確に捉えている。点画の省略の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	点画の省略の課題を見法を考えている。
随筆を書く	5	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」立場に立つ用法、叙述めて、文章
日本語の文字	1	日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	学年別漢字配字に加え、そ300字程度が字を讀んでい当表の漢字を書き、文や

子どもの権利	4	<ul style="list-style-type: none"> ●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」 読んで理解し自分の考えている。
◇書き初めを書く	5	<ul style="list-style-type: none"> ○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 	筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。 行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて配列よく書いている。	紙面に対する和のさせ方
調べた内容を聞く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。 	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと」 目的や場面活の中からの材料を整理して検討して
漢字の広場4	1	熟語の構成の基本的な型を知る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ	6	<ul style="list-style-type: none"> ●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。 	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」 心的な部分事実と意見で叙述をも把握している
漫画で「物語」を表現する	2	<ul style="list-style-type: none"> ●漫画の表現の特徴について理解する。 ●漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	目的に応じ目して要約面、場面としたりして、
読み手を意識して報告文を整える	4	<ul style="list-style-type: none"> ●要点を簡潔にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。 	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」 立場に立って用法、叙述めて、文章

文法の小窓 単語のいろいろ	3	自立語と付属語, 活用の有無などの, 分類の基準について理解する	単語の類別について理解するとともに, 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	
発言を結びつけて話し合う	4	●話題を意識して話し合い, 発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し, 自分たちの感想や考えをまとめ	原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・話題や展開合い, 互い考えをまと
四季の詩	5	それぞれの詩の題材を捉え, 描かれたイメージを想像する。	比喩, 反復, 倒置, 体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」開や登場人物の変化などもとに捉え【思考・判断】において, 読者, 表記やの仕方など整えている
少年の日の思い出	8	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を, 描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み, 意見を交流するなどして, 自分の考えを確かめながら	事象や行為, 心情を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うことをとおして, 語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」開や登場人物の変化などもとに捉え
方言と共通語	1	方言と共通語の特徴について知る。	共通語と方言の果たす役割について理解している。	

<p>頭、関係づけなどの 里の仕方、引用の仕 示し方について理 それらを使ってい</p>	<p>すすんで読書が考えを広げる ことに役立つことを理解し、学 習の見通しをもって考えたこと を提案しようとしている。</p>
<p>こにおいて、目的や意 ;、日常生活の中から り、集めた材料を整 たいことを明確にし</p>	<p>粘り強く情報の整理の仕方につ いての理解を深めるととも に、学習課題にそって創作しよ うとしている。</p>
<p>い中心が明確になるよ)資料を比較するとと の役割などを意識し 構成や展開を考えて</p>	<p>すすんで情報の整理の仕方につ いて理解し、学習課題にそつ て共通点や相違点を根拠にし ながら考えたことを書こうとし ている。</p>
<p>本点画の筆使いや組 りを確認している。</p>	<p>基本点画を把握し、その解決に 向け意欲的に取り組んでいる。</p>
<p>漢字を読み、または とともに、今までの学 習で文や文章の中で 使っている。</p>	<p>積極的に漢字を読み、または 漢字を書くとともに、今までの学 習を生かして文や文章の中で 使おうとしている。</p>
<p>こにおいて、目的や意 ;、日常生活の中から り、集めた材料を整 たいことを明確にし</p>	<p>すすんで集めた情報を整理し、 学習の見通しをもって案内文を 書こうとしている。</p>
<p>面に応じて、日常生 ら話題を決め、集め 整理し、伝え合う内容 いる。</p>	<p>粘り強く自分の考えを確かなも のにするとともに、今までの学 習を生かして本や資料をもとに 考えを深めようとしている。</p>
<p>や書式を考えて、文 ;や配列を適切に捉</p>	<p>日常生活で書かれる身近な文 章について、形式を整えて書こ うとしている。</p>

<p>図に応じて、日常生活の題材を決め、集め整理し、伝えたいことをしている。</p>	<p>情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。</p>
<p>或や展開、表現の効理の構成)について明確にして考えている。</p>	<p>粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。</p>
	<p>すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。</p>
	<p>積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>頭、関係づけなどの理の仕方、引用の仕り示し方について理それらを使っている。</p>	<p>すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。</p>
<p>た文字や日常生活から、行書とはどんな書体かに捉えている。</p>	<p>残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを意欲的に知ろうとしている。</p>
<p>こにおいて、目的や意、日常生活の中から、集めた材料を整理したいことを明確にし</p>	<p>積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。</p>
<p> において、場面の展人物の相互関係、心などについて、描写をしている。</p>	<p>積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>
<p> において、場面の展人物の相互関係、心などについて、描写をしている。</p>	<p>積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>

<p> において、場面の展人物の相互関係、心まどについて、描写をている。</p>	<p>すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>読の筆使いから自己見つけ、その解決方いる。</p>	<p>行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。</p>
<p>読書が考えを広げるつことを理解し、今習を生かして小説を読ことを記録しようとして</p>	<p>すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>
<p>表現の技法を理解す詩を読んで考えたこととして</p>	<p>すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
<p>鳥、心情を表す語句、話や文章の中でととして、語感を磨きかにしている。(1)ウ、倒置、体言止めなり技法を理解し使っ</p>	<p>粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>読の筆使いから自己見つけ、その解決方いる。</p>	<p>行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。</p>
<p>こにおいて、読み手のって、表記や語句のの仕方などを確かを整えている。</p>	<p>粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。</p>
<p>記当表に示されている漢の他の常用漢字のうちから400字程度までの漢。また、学年別漢字配のうち900字程度の漢字文章の中で使っている。</p>	<p>積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>

<p> において、文章を読んだことに基づいて、考えを確かなものにして</p>	<p>粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>する楷書と仮名の調子を考えている。</p>	<p>自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。 自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。</p>
<p>聞くこと」において、面に応じて、日常生活の話題を決め、集め整理し、伝え合う内容</p>	<p>積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。</p>
	<p>積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p> において、文章の中心と付加的な部分、見との関係などについて捉え、要旨を把握</p>	<p>すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>
<p>て必要な情報に着目したり、場面と場描写などを結びつけ内容を解釈している。</p>	<p>積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。</p>
<p>こにおいて、読み手の立場から、表記や語句の並びの仕方などを確かめを整えている。</p>	<p>積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>

	<p>すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。</p>
<p>「聞くこと」において、 聞かせる側を捉えながら話し 手側の発言を結びつけて まとめている。</p>	<p>すすんで互いの発言を結びつ けて考えをまとめ、学習の見通 しをもってそれぞれの立場から 考えを伝えようとしている。</p>
<p>「読むこと」において、場面の展 開、人物の相互関係、心 理などについて、描写を している。C(1)イ 【新・表現】「書くこと」に よる読み手の立場に立つ た語句の用法、叙述 の順序を確かめて、文章を よめる。</p>	<p>すすんで描写をもとに捉えると ともに、今までの学習を生かし て詩を創作しようとしている。</p>
<p>「読むこと」において、場面の展 開、人物の相互関係、心 理などについて、描写を している。</p>	<p>粘り強く登場人物の心情の変 化などについて捉えるととも に、学習の見通しをもって小説 を読んで考えたことを記録しよ うとしている。</p>
	<p>すすんで共通語と方言につい て調べ、学習の見通しをもって 共通語と方言の果たす役割に ついて理解しようとしている。</p>